

特集

# 年末年始も安全・安心の泉区へ

令和3年1月から10月までの、泉区の火災発生件数は26件です。出火原因は「たばこ」「こんろ」が最も多く、次いで「放火」「ストーブ」となっています。また、住宅火災で亡くなる人の約7割が65歳以上の高齢者です。火災の発生や逃げ遅れを防ぎ、命を守るためにも、日頃から取り組むべき「住宅防火いのちを守る10のポイント」を確認してみましょう。



## 住宅防火 いのちを守る10のポイントはこちら！

### 4つの習慣

- 1** **寝たばこ**は絶対にしない、させない。
- 2** **ストーブ**の周りに燃えやすいものを置かない。
- 3** **こんろ**を使うときは火のそばを離れない。
- 4** **コンセント**はほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く。

### 6つの対策

- 1 出火防止**  
安全装置  
火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろなどは、安全装置の付いた機器を使用する。
- 2 早期発見**  
ボタンを押す ひもを引く  
火災の早期発見のために住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- 3 延焼拡大防止**  
防災寝具 防災カーテン  
火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具およびカーテンなどは防災品を使用する。
- 4 初期消火**  
火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく。
- 5 早期避難**  
高齢者や身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- 6 地域の助け合い**  
防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

## 救急車の適正利用で大切な「命」を救いましょう

例年、インフルエンザなどが流行する時期です。急な病気やけがで困ったときには、「#7119」や「横浜市救急受診ガイド」を利用しましょう。

電話から  
救急受診できる病院・診療所を知りたい

#7119  
または045-232-7119 年中無休、24時間対応

1番を選択  
救急受診できる病院・診療所を知りたい

2番を選択  
今すぐに受診すべきか救急車を呼ぶべきか

スマートフォンから  
横浜市救急受診ガイド

緊急性や受診の必要性を確認できます

横浜市救急受診ガイド 検索

お知り大塚消防士

緊急性があると思われる場合は、**ためらわず救急車を要請してください。**



## 私たち泉消防団です！

新入団員が続々入団しています

泉消防団では400人を超える自営業、会社員、学生、主婦など、さまざまな人たちが活躍しています。普段は本来の仕事や学業、家事・育児をしながら、ご自身の可能な範囲で活動しています。



泉消防団の活動を紹介します！

泉消防団 第一分団 大竹さん

令和3年6月から10月までに入団された皆さん



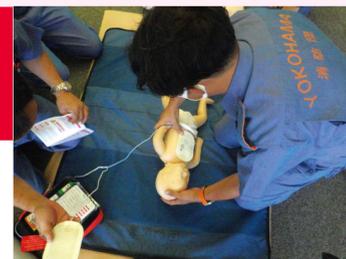
### 火災などの災害対応

火災時などに、可能な団員が自宅や職場から現場に駆けつけ消火活動を行います。



### 上級救命講習

心肺蘇生法やAEDの使い方、けがの処置について学びます。



### 防災指導など

地域の防災指導や、学校・幼稚園などで防災教育の啓発活動を行います。



### 災害に備えた訓練

風水害や震災などに備え、救助方法を学びます。



## 入団体験・見学も実施しています

実際に消防団が実施している訓練に参加し、「活動の様子」「消防団の雰囲気」を体験・体感できます。詳しくは泉消防団ホームページまたは消防団係までお問い合わせください。



泉消防団 検索

消防団ポスターにも  
現役の泉消防団員が  
出演しています

## 女性消防団員も大勢活躍中



## 令和4年 泉区消防出初式

令和4年泉区消防出初式は、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、残念ながら式典のみの開催となります。(参加者は招待者・来賓者のみとさせていただきます) 新しい年も区民の皆様が安全・安心を実感できるよう、区役所、消防団、事業所と連携し、全力で防火防災に取り組んでまいります。



泉消防署長 小林 修二